

## 長岡市

長岡市は新潟県で二番目に大きな都市で、日本海に面しており、佐渡島の向かいに位置しています。この都市は何世紀にもわたって農業と製造業の中心地であり、米作り、酒造り、発酵食品の生産に重点を置いてきました。歴史的な神社や寺院、美味しい郷土料理、息をのむような風景、温泉リゾート、文化イベント、そしてワールドクラスの花火大会があることで知られています。

### 歴史

長岡は 17 世紀初頭に徳川幕府の藩の一つとして設立されました。長岡藩の歴史は、武将の堀直奇（1577～1639）が現在の長岡駅の地に長岡城の築城を始めたことから始まりました。1618 年に牧野家が築城を引き継ぎ、代々 250 年以上にわたり大名として長岡を治めました。

戊辰戦争（1868–1869）の混乱の中で、長岡は幕府寄りの諸藩と同盟を結び、朝廷寄りの新政府軍の勢力に対して敗戦を喫しました。その影響で長岡は大きな被害を受けましたが、19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけて長岡は急速に復興しました。第二次世界大戦中には激しい焼夷弾攻撃によって再び多くの市街地が瓦礫と化しましたが、再び立ち上がり、復興と繁栄を遂げました。

## 自然の美

長岡市内には、田畑、山、森林、海など非常に多様な地形が広がっています。果てしなく広がる水田、曲がりくねった河川、沿岸漁業、豊かな森林、急な棚田や池、雪をかぶった山々、そして色鮮やかな紅葉の庭園など、四季折々に楽しめる印象的な景観が数多くあります。

## 料理

長岡は長い間、日本酒の生産で有名な中心地であり、現在 15 の酒蔵が市内で営業しています。撰田屋地区は多くの伝統的な酒蔵や発酵食品の生産で知られ、一方、寺泊地区は寺泊魚市場通りで新鮮な海鮮が販売されていることで有名です。

ラーメン愛好者は、寒冷な気候に耐えるために長岡で開発された、しょうがと醤油を使った地域スタイルの独自のラーメンを楽しむかもしれません。他にも、へぎそば（そばの一種）、栃尾あぶらげ（厚い揚げ豆腐）、笹団子（竹の葉に包まれたあんこが入っているヨモギもちの和菓子）などの地元の名物があります。

## 花火の地

8月2日と3日、長岡花火大会は信濃川の夜空を照らし、20,000発以上の花火が華やかに打ち上げられます。2時間近く続くこのショーは、世界中から100万人以上が訪れ、国内でも有数の花火大会とされています。

## **アクセス**

長岡は、東京から上越新幹線でわずか1時間40分の距離にあります。また、特急列車を利用すれば、全国の主要都市から長岡へのアクセスも容易です。